

教会委員会、信徒の会例会、要理学校、サロン、子どもと共に捧げるミサ、などはお休みです。



Assumption of Mary (Mateo Cerezo, 1650)

聖母の被昇天とロザリオの祈り

主任司祭 小林 陽一

神の汚れなきおとめマリアが「この地上生活の道程を終えて、肉身と靈魂ともども天の栄光に引き上げられた」ということは、1950年11月1日にピオ12世教皇が教義決定書『ムニクイチェンティッシムス・デウス』の中で、信仰すべき簡条としてお定めになりました。

被昇天の聖母について、第2バチカン公会議の典礼憲章68に次のように記されております。《「マリアは教会が終末の時にあるべき姿」、パウロの言う「しみも、しわも、このようなものは何一つないものとして、栄光に輝く花嫁」の姿（エフェソ5：27）を前もって現すのです。「イエスの母は、天上において肉体と靈魂ともども、すでに栄光を受けている者として、来世に完成されるべき教会の像であり、始まりであるように、地上においては、主の日が来るまで（IIペトロ3：10参照）、旅する神の民にとって確実な希望となぐさめのしるしとして輝いている」。》

「コリントの人々への第一の手紙」15章20～27節には、次のような教えが記されています。

- ① イエスは、復活によって、「罪と死と、死の勢力であるサタンに打ち勝ち」、神のいのちに完全に生かされ、すべての人を「生かす霊」（Iコリント15：45）となられた。
- ② こうして洗礼によってキリストに合体された人も、イエスのこの罪と死に対する勝利に与ります。
- ③ 一人ひとりの信者が、「死」に決定的に打ち勝つのは、神の計画が完全に成就される「世の終わり」のとき、つまり、完全に「神の子」とされて体のあがなわれるとき（ロマ8：23）、「最後の敵である死がほろぼされる」（Iコリント15：26）ときです。

聖母マリアは、この恵みを「先取り」した形で、いま、現に、キリストの罪と死に対する決定的な勝利にあずかっておられます。これが、聖母の被昇天の教義のおおまかな内容です。

マリア様の生きる姿勢がはっきり現れた聖書の場面は、天使ガブリエルからマリア様がお告げを受けたときでした。「マリア、恐れてはなりません。あなたは神から恵みをいただいたのです。あなたは身ごもって男の子を産むでしょう。その名をイエスと名付けなさい」と言われました。マリア様は、戸惑いました。「どうしてそのような事がありえましょうか」と尋ねました。み使いは言いました。「聖霊があなたに臨み、いと高きおん者の力が、あなたを覆うでしょう。それ故、お生まれになる子は聖なる者で、神の子と呼ばれます」（ルカ1：35）。み使いは、「エリザベトが年寄りでありながら、男の子を身ごもって6ヶ月になる」と告げ、「神には何一つお出来にならないことはないのです」と告げました。マリア様は「私は主のはしためです。お言葉どおりこの身になりますように」と答えました。マリア様は、どのような事を告げられても従順でありたいと願い、神を心から愛する心でお答えになったと思います。

8月は聖母の被昇天を15日に祝うところから、聖母月とも呼ばれ、マリア様に取り次ぎを願うためロザリオの祈りをグループでよく唱えます。個人でロザリオを唱える方もいらっしゃいます。ご病気の方、ご高齢の方々のために、ロザリオの祈りを唱え、そのことを丁寧に記した「霊的花束」を贈ってさしあげると、きっと喜ばれると思います。

典礼こよみ（八月）

日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
2	金		初金ミサ(10時)	掃除
3	土		主日ミサ(18時)	
4	日	年間第18主日	主日ミサ(9時)	
6	火	主の変容(祝日)	祝日ミサ(10時)	
10	土		主日ミサ(18時)	掃除
11	日	年間第19主日	主日ミサ(9時)	
15	木	聖母被昇天(祭日)	祭日ミサ(10時)	
17	土			掃除
18	日	年間第20主日	主日ミサ(9時)	
24	土			掃除
25	日	年間第21主日	主日ミサ(9時)	聖堂清掃(A,B地区)
31	土			掃除

シスター片岡の講演会に参加して

6月29日の午後、中和田教会の聖堂で有意義な講演会に参加できました。

遠路お越し頂き、心のこもったお話しをしてくださいましたシスター片岡に御礼申し上げます。またこのような講演会を企画され実現に向けて奔走して下さいました森脇さんに感謝致します。

これまでルルドやベルナデッタについては断片的には知っていましたが、今回のお話で全体がつながり、理解することができました。ベルナデッタが信仰心の篤い良家の令嬢でなく、貧しく平凡なおてんば娘であったこと、そして信仰的、学問的バックグラウンドがなくなかったことに興味を引かれました。マリア様を何度も見、そのあとの人生が一変するよう人ではなさそうところが逆にこの一連の出来事に現実味を与えているように感じます。単にマリア様を見たというだけなら、その時は騒ぎになっても今にまで伝わる話にならなかったかもしれませんが、その後大聖堂となり、更に奇跡の泉と複合して全体として大きな奇跡となっていく、そして今に至るまで多くの人びとを引きつけ、参拝者が絶えない巡礼地になっていった経緯を、シスター片岡は分かり易くお話してくださいました。淡々としたお話しぶりがかえって印象の深いお話になり、引き込まれました。私は日頃より奇跡については信仰への契機ともなり、また人によってはかえって妨げともなると感じていて、奇跡と言われてもなんとなく反発を感じることも多いのですが、シスター片岡のお話しはこれこそ奇跡だ、さあ信じなさいという感じではなかったため、かえって素直に受け止めることができました。家にあちこちからお土産に頂いたルルドの水がありますが、これまでより親しみを感じた次第です。海外にはよく行く機会があっても巡礼地を訪ねようとはあまり思わなかったのですが、今回のお話しを伺い、一度行って見ようと思いました。



奇跡のお話しも面白かったのですが、そのあとの懇談会でのお話しがまた興味深いものでした。遠く日本から離れ、貧しい人達の学校教育への支援活動というどこから手を付けてよいか分からないような難しい命題に対し、困難を乗り越えながら現地での活動を進められたことは素晴らしいことだと思いますし、課題を次々と解決していく実践的な智慧に感銘を受けました。また神さまのため、布教のためという気負った感じではなく、人びとの手助けになりたいという気持ちがにじんできて、シスターの人となり親しみが持てました。

他の教会からも多くの方が参加され、懇親会にも出て下さいました。相互交流の良い機会になりました。有り難うございました。（岩淵 英介）

信徒の会から

7月21日ミサ後、今後通常の例会に加え実施したいイベントと7月27日のガーデンパーティーの準備について話し合いました。比較的要望の強かった項目は、他教会の訪問、ミニハイキング（楽なコース、植物の名前を覚えたり、郷土の歴史に関連する場所）、一泊の黙想会（黙想の家、中和田教会としてのアレンジを依頼）、勉強会（カテキズム、聖書の疑問箇所をざっくりばらんに話し合う）、カトリック関連の映画を観ての分かち合い（DVD、スクリーン使用）、聖歌を楽しく歌う会（信仰年の歌やラテン語ミサ曲等、ミサ後でも）、ミニ講演会（信徒から造詣の深い領域について話をしてもらおう）、趣味の会（習字、写真）、天体観測会（教会庭で望遠鏡）等々です。またパソコン教室は時間を確保できるよう土曜日に実施することとなりました。大川さんの講演会も実施予定です。

いずれにせよ、信徒の会の基本的な方向性として、親睦を深めることと信仰を深めることの両輪を回していけると良いとの貴重な御要望も頂きました。

今後まずミニハイキングの希望コース、映画の候補、訪問したい教会の候補を提案してもらおう（宿題です）と共に、勉強会、黙想会、ミニ講演会の具体化を行うこととなりました。

楽しく親睦が深められると共に勉強になる場として信徒の会が活性化されることを目指したいと思います。また幹事としてはより多くの方に参加して頂きたいと願っております。御協力宜しくお願い致します。

（岩淵 英介）



敬老ミサ＊お祝い会のご案内

9月15日(日)のミサは「敬老ミサ」です。ご高齢の皆様方が主に守られて、日々平安にお過ごしになっていることを、皆さまと共に感謝し、後の日々の癒しと守護を願ってミサに与りたいと思います。この日、「病者の塗油の秘跡」も受けられます。これは、高齢の方ばかりでなく、ご希望の方どなたも受けられます。

ミサの後は、集会室に移動してお祝い会が行われます。これにも信徒の皆さまどうぞご参加ください。よい交わりの時となるとよいなと思います。

敬老の対象は満75歳以上の方ですが、信者に限りませんので、ご家族、お知り合いで対象になられる方がおられましたら、教会にお申し出いただくとよいでしょう。



あかしてナニ?・・・『証』こん談会

見出しの懇談会を次のとおり開きます。お茶でも飲みながら語り合しましょう。皆さん、是非、ご参加ください。

・日時：2013年9月8日(日)
13:00～15:00の間

・場所：藤沢教会ホール

・発題者：
鈴木 勁介 神父
(藤沢教会主任司祭)

伊東 和子
(大船教会信徒)

《主催》

第5地区共同宣教司牧委員会証部門
担当司祭 鈴木 勁介 神父



～ 中和田の風 ～

家族愛・兄弟愛

— 教会で憩う日曜日 —

要理学校の頃から中和田教会に通い、今も末っ子光希ちゃんを連れてミサに与かっておられる石井伸雄さんにお話を伺いました。



▲生まれつきの難聴で子供さんの頃から苦勞されていたと思います。どんな家庭で、どんなお子さんでしたか？

一母が熱心な信者で躰は厳しかったが、いつも支え励ましてくれたことは感謝している。兄弟に恵まれたことも良かった。一番下の弟は年が離れているが、すぐ下二人の弟とはいつも一緒に喧嘩したり遊んだり家庭の中では楽しい思い出ばかりだ。小中は普通の公立校に通ったが勉強についていくのは難しく中学生の時には中学生会リーダーの森脇信行さんに家庭教師をしてもらい随分と助かった。

▲子供の頃の教会での経験や思い出を教えてください。

一教会に来るとたくさんの友達に会えて遊べるのが一番楽しかった。ミサの時は最前列に座り少しでもしゃべると宮下神父様に叱られるのはすごく怖かったが、いつも弟たちと一緒にいたし友達みんなで行事に参加するのが何より楽しかった。中学生の頃は二俣川教会の子供たちと一緒に毎年夏のキャンプに丹沢などに行った。キャンプ最後の日は徹夜でゲームをやったこともあった。

▲お仕事は何ですか？ご苦勞はありますか？

一車の部品(金属切削加工品)の品質検査をしている。検査室は温度湿度が完全に管理されている中、加工現場の機械音だけが四六時中していて人の声が聞き取りにくい。今後年を重ねると増々聴力が落ちるので子供の時、手話も勉強しておけば良かったと思うこともある。

▲家庭では3人のお子さんのお父さんですが、どんなお父さんですか？

一自分の父親が仕事一筋で家庭での躰は母親任せだったこともあり、私も自分の父親のように子供たちの躰は妻を信頼して殆ど任せている。妻は自分の思いに子供たちを縛り付けず、個を尊重し独立心を持たせるように育ててくれている。私の両親が適度に子供たちと関わり見守ってくれていることに対して妻が助かっていると言ってくれ嬉しい。今は光希と映画を見に行くのが楽しみです。

バザー担当からのお知らせ

第2回目のバザー打合せを開催しますので、ご参集の程宜しくお願ひ申し上げます。

・日時・8月11日(日)ミサ後
・場所・集会室



総務からのお知らせ

【転出】
使徒ヨハネ 宮崎 智史 さん

2013年7月26日付で、茅ヶ崎教会へ転出されました。

委員会だより

(文中敬称略)

▲7月14日(日) 13名出席▽

■神父様の話

・2013年の区民クリスマスは会場(泉公会堂) 抽選にもれたため中止。キャロリング、老人施設訪問は例年通り行う予定。区民クリスマス実行委員会からはクリスマス合同礼拝の提案があった。目的:各参加団体が心を一つにして神を賛美し、クリスマスを祝い、祈り感謝する。内容:聖書朗読、説教、他教会若者による賛美のダンス、聖歌隊による合唱2曲。全員でキャロリング合唱。全員で歓談に参加する。中和田教会は教会の大きさ、地の利等で会場候補として挙げられた。(石井(悠))

↓提案日程の内12月14日(土)午後2時~4時を第一候補として承諾した。
*次回7月19日(金) 区民クリスマス実行委員会(於:中和田教会)
・2014年 中和田教会の堅信式について

該当者:35人(小5~成人) 総務データによる。

2011年の堅信式を振り返って、5、6年生を加えての8人だったが小学生は堅信を受けた後、要理学校に来なくなった。せめて6年生からの方が好ましい(保科)。

戸塚教会から合同堅信式の承諾も得ているが人数が十分であれば独自にする方が望ましい(上野)。

教会共同体全体で堅信を受ける子供たちを励まし、支え、祈る必要がある(小林神父)。

自分の経験からしても少なくとも中

学生以降が望ましい(大宮)。

人数が少なくても司教様に申し訳ないと思わなくともよいのでは、司教様に来ていただくことが大切(中島)。

6年になったら堅信の勉強を一年ぐらいのスパンで始めることが必要ではないか(井上)。

親も一緒に勉強するとよい(石井洋)。
堅信を受ける人数がある程度ましまり司教様をお呼びできる時期を待つことも大切(小野(和))

■各グループからの報告

●典礼(大宮(智))

・次回の典礼ミーティングは9月29日(日)を候補として予定している
先唱、香部屋について個別に確認、説明、紹介
・葬儀のしおりの内容が古くなってきたので新規購入を検討中

↓新版を一冊購入して検討する。
・敬老ミサ9月15日(日)は2012年に準ずる。
・去年は病者の塗油の呼びかけがよかった。(小林神父)

・祝賀パーティは行事担当で行う。
●財務(甲斐)
・シュレッダー購入を検討している。

●宣教(井上、石井(洋))
・第五地区のサマーキャンプ(山中湖星美ホール)8月23日(金)~25日(日)中和田教会から一人参加↓参加費は補助(上野)

・8月末に中高生会を予定
・一粒会大会(箱根函嶺白百合学園)9月23日(月)申し込みは7月末まで

・第2回一粒会神奈川第五地区委員会の報告から
・神学院/新入生:6名 現神学生人数:東京キャンパス15名 福岡キャンパス23名

●要理(保科)

・夏のイベントは小さい子供が多いので泊りは難しい。
7月28日(日)子供ミサに続いて夕方まで夏季学校を行う。

●建物/営繕(福島)

・庭の草取りは熱中症が心配なので延期、当座は営繕担当が機械で草刈りをする。
木を剪定するための高い脚立を購入入検討中。

・庭係を若干募集する。現在は毎日一人の方がマリア様の前の花壇の水やりや草取りにいられている。
・門の掲示板が劣化しているのでボードを改造して使用しやすくする。
・中古の冷蔵庫、洗濯機、食器棚もらいうけた。必要なければ処分する。

●福祉(中島)
・教会報、教区報を送っている。
・病院、施設に入っている方を訪問するにあたって、福祉グループは女性ばかりだが男性の方を訪問する場合、その方たちへの対応を検討したい。又情報が入らないと福祉として行けない。

↓主任司祭と一緒に行くのはどうか、声をかけてほしい(小林神父)。
今後は病院、施設の入所者は増加の一方であるから全ての人に対応することは難しい。施設訪問はあくまでも個人として行くのが良い(上野)

●行事(小野(和))
・7月7日(日)第一回バザー打ち合わせ:内容は概ね例年通り。担当者の確認。教会の資金を得ることと教会内外との交流をはかることを目的として信徒が自主的に行うことを確認した。バザー券は発行部数を減らすことにする。
8月11日(日)第二回バザー打ち

合わせ、ミサ後。

・敬老ミサの案内状を作成して手渡しをする。

●総務(岩瀬)

・ガーデンパーティ7月27日(土)午後5時半~
予算 教会2万、信徒の会2万
去年も野菜等が大幅に余ったので少ないにする。(買い出し小野(和江) 他)

財務としては本来会費制にすべきと考える。今年は無料だが信徒の会と折半にすることで会費制に準じた形とする(甲斐)

●広報(今井) 原稿依頼
●討議・報告事項(上野)

・広町自治会「50周年夏祭り」井上さんにご祝儀を持っていただいていただく。
・防災対策臨時信徒大会
6月16日(日)に行われた臨時信徒大会の討議内容を踏まえ、今後更に中和田教会の防災対策を遂行、続行していくのか9月の委員会で確認する。以上

次回委員会 9月8日(日)

納涼ガーデンパーティ (7/27)

ご奉仕とご参加、有難うございました!

